

(別紙)

## 6 主な事業に関する調べ

事業名	地震津波対策緊急強化事業									
施策の実施状況、成果・進捗状況・問題点等										
(単位：千円)										
当初予算額	補正等予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額					
100,815	(2月) ▲23,065 (流用) ▲588 (所管替配当) ▲25,000	52,162	48,809	0	3,353					

**1 主な事業の実施状況**

- 避難所の環境整備
  - 避難所の環境整備に資する各種資機材を整備した。  
＜整備資機材＞ ※括弧内は整備数  
トイレカー（3台）、シャワーカー（1台）、スポットクーラー（30台）、簡易ベッド（150台）、プライバシーテント（45張）、送風機（30台）、かご台車（3台）
- 孤立対応備蓄等整備事業
  - 孤立発生時等の非常連絡手段として衛星通信設備（スターリンク・5台）を整備した。  
※孤立状況等調査事業は市町村照会等により実施（委託なし）
- 津波避難に関する普及啓発
  - 地震・津波からの避難等防災啓発のための講演会を湯梨浜町で開催した。  
＜鳥取県地震・津波防災講演会＞  
開催日：令和6年9月8日（日）  
場所：ハワイアロハホール 大ホール（鳥取県東伯郡湯梨浜町はわい長瀬584）  
内容：『能登半島地震を受けた鳥取県の地震・津波への備え』  
講師：鳥取大学工学部社会システム土木系学科 教授 香川 敬生 氏（鳥取県防災顧問）
- 地震津波のための即応体制強化事業
  - 岩美町の避難所開設訓練において、県整備資機材（簡易ベッド、プライバシーテント、スターリンク）を設置し、住民に避難所生活の体験の場を提供した。

**【予算と比べて40%以上減額となった主な理由】**

- ・ トイレカーナーの入札に係る請差（予算額：40,000千円 → 執行額：28,160千円）
- ・ 鳥取県防災・危機管理対策交付金（市町村緊急対策枠）の消防防災課への所管替配当（25,000千円）

**2 事業の成果（改善状況）・課題等**

- トイレカーナーや簡易ベッド等の各種資機材を整備し、災害関連死を防止するために避難所の環境整備を行う体制の強化を図った。
- 衛星通信設備を整備し、孤立集落発生時等でも確実性の高い通信手段の確保を図った。
- 市町村と連携した訓練を通じて、資機材の輸送・展開手順等を確認するとともに、住民にプライバシー空間が確保された避難所を体験いただいた。また、講演会により津波対策に係る啓発を実施した。
- 避難所における良好な生活環境を確保するためには、更なる資機材（簡易ベッド、プライバシーテント等）の整備が必要である。
- また、各種資機材の保管・輸送・展開体制を整備するとともに、資機材の取扱いの習熟を継続していく必要がある。